

令和4年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【道徳】

掲載数

4

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市立	高2	道徳	自分の意見の伝え方、相手の考えの聞き方を学ぶ	自分の意見を伝えたり相手の考えを聞くときのルール（1. 答えは一つではない。2. 「正しい」「間違い」という2択をすることではない。）を確認した。 今回のテーマは、同世代の高校生が新聞へ投稿した「あいさつって全員に必要？」について投稿者の考えを自分がどのようにとらえたか。次に自分はどのように行動するかについて考え、クラスで発表し合った。この授業を通して人の意見を否定せず聞く経験をすることができた。	新聞の投稿
2 神奈川県立	小1	道徳	学校のかえりみち	困っている人を助けることは、相手だけではなく、周りの人や自分も嬉しくなることについて扱った。振りかえりでは、「おじいさんとおばあさんとゆうじとまことがたすけてくれてうれしかった。」「じぶんもたすけられたのでニコニコ。」「ゆうじもまこともうれしそうなのは、たすけてあげたから。」「おじいさんやおばあさんにほめられたから。」と文章に表していた。	いきるちから1年
3 神奈川県立	中複合	道徳	節度・節制	近年では、SNSやネットゲーム等が生徒に及ぼす影響が大きくなり、生活環境が変化してきている。その中で、安易に自分の欲望に流されたり、目標を失ったりすることがないように、節度・節制を心がけ、心身の健康を保っていくことは生きていくうえで大変重要である。 中高生を対象とした自由時間についての調査や、ネットゲームへの依存に関する新聞記事を通して、望ましい生活習慣について考えさせ、節度を守り、節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てることをねらいとした授業を行った。	2・3学年複合
4 神奈川県立	高複合	道徳	平和学習「沖縄から学ぶ平和の大切さ」	講話を視聴する日を含めた1週間を『沖縄Week』と名付けて、社会、音楽、道徳など教科横断的に沖縄に関する学習を計画、生徒に沖縄への興味関心を抱かせた上で学習に臨んだ。1時間のオンライン講話で生徒は、沖縄戦の推移、ひめゆり学徒隊がどのように関わったのか、友の死や平和の大切さをどのように感じたかなどを学習した。授業後の振り返りでは、「平和がどれほど大切か分かった」「自分の命もみんなの命も大切にしたい」など、全員がテーマに沿った感想を伝え合うことができた。	講師：ひめゆり平和祈念資料館学芸課説明員 学年：高等部分教室生徒全員が同時に、各学年の教室でオンライン受講 資料：説明員よりオンラインで提示される映像等